



スピーカー: アニ瓦尔・トフティ / ロプノール・プロジェクト

外科医として活躍すると同時にウイグル人の権利擁護活動に熱心に取り組んでいる。中国・新疆ウイグル自治区のハミ(クムル)市生まれ。ウイグル自治区の州都であるウルムチ市で育ち、初等・中等教育を受けた。石河子医科大学を卒業後、鉄道中央病院に腫瘍外科医として13年以上勤務。新疆ウイグル自治区のタリム盆地にあるロプノール地区で行われた核実験と悪性腫瘍との関連性を発見。イギリスの撮影チームの協力を得て、核実験が地元の人々に与えた壊滅的な影響を暴露し、中華人民共和国からイギリスへと亡命を余儀なくされた。現在はロンドンを拠点に、ロプノール(ルオボブ)地区での核実験の影響を発信する活動を続け、実験被害者の権利擁護活動も行なっている。また、死刑囚からの臓器摘出を命じられた経験から、強制的な臓器摘出に反対するキャンペーンでも大きな役割を果たし、中国の闇を暴露することを決意。

皆さんこんにちは。

本日は中国の核実験についてお話する機会をいただきましてありがとうございます。私の中国の核実験に関わる活動は学術的なものではありません。私は普通の医者ですから。そして私の活動は研究ともいえません。私はたまたまこのことを知り基本的な調査を行いました。その後、私は亡命しなければなりません。その後も帰国することができず、フィールドワークができませんでした。そのため今からお話するのは私の昔の経験と最近の研究に基づいたものです。厳密にいうとこれは学術研究ではなく、私の経験です。

初めて核兵器を知ったのは1973年でした。通学途中にとっても細かい埃が空から降ってきました。とても静かで何が起きているか分かりませんでした。学校で先生に何が起きているか尋ねました。先生は「土星で嵐が起きている」と言いました。なぜか分かりますか？中文では「土星」は土の惑星です。土星で嵐が起きれば、土が空から降ってくると考えたのです。

これが中国の核実験を知ったきっかけです。

そして朝鮮戦争ですが、中国は朝鮮戦争に関わっていました。米国は武力を持っていましたが、たくさん若い命が失われていくのは見るに堪えませんでした。そして中国の共産党は兵士の命を惜しみませんでした。中国の兵士は次々と戦争へと送り込まれました。トルーマン大統領は戦争を終わらせるために核兵器を使うと威嚇しました。その結果、中国も核兵器を開発することを決めました。それが始まりでした。

これはロプノールという地域です。ロプノールはご存知の通り、核実験場として使用されたことで知られています。でも実際は違います。ロプノールはここです、そして核実験場はここです。核実験場を建てた将軍は場所を200kmこの方向に移しました。この湖の水を利用するためです。結果として、実験場は人が住む近くに建設されました。

こちらが一つ目の塔です。そしてここにあるのが核実験施設です。私が経験したのもここで行われた実験です。中国は新疆ウイグル自治区でしか実験を行いません。兵器の設計、生産、備蓄は全て中国で行われますが、実験は私たちの土地で行います。

これが私の勤務先だった病院です。中国の核実験による影響についてお話します。この病院は新疆にある中国の腫瘍専門病院です。この部分は1994年に建設されました。2007年にはこの二つが建設されました。

この病院は中国最大級の省立病院になりました。ウルムチ市に位置しています。新疆の人口は

The logo for WNSF 2021 is a circular emblem with a white background and a purple-to-pink gradient on the right side. The text "WNSF" is written in a bold, purple, sans-serif font at the top, and "2021" is written in a bold, purple, sans-serif font below it.

WNSF 2021

2500万人です。もう一つが河南省で、人口は1億人です。新疆の病院の病床数は2,500です。一方で河南省の病院の病床数は850です。二つの数には大きな差があります。中国の核実験プログラムは多くの人を犠牲にしましたが、朝鮮戦争直後に朝鮮戦争への介入に対して、中国政府は米国から制裁を受けていました。そしてそれ以前に朝鮮戦争は既に中国経済に大打撃を与えていました。この経済状況に関わらず、なぜ中国政府は核兵器の開発をできたのか。答えは次の事実で隠されているかもしれません：

1958年、1959年、1960年の3年間は飢餓の3年間でした。6千万から7千万人が亡くなりました。理由は未だに明確ではありませんが、経済状況が悪かったにも関わらず多くの人々に食糧支援をするのではなく国は核実験プログラムに資源を注ぎ込みました。その結果原爆を開発することに成功しました。しかし中国全土にわたって犠牲になった6千万から7千万名の命は忘れられています。

そしてロプノールは、広島とは異なる環境です。広島は湿地のため、原爆投下後、放射性物質は黒い雨として落ちてきました。しかしロプノールでは、何千年、何百万年も雨が降っていません。核兵器が爆発した後、放射性物質はずっと空中を舞い続けています。それを肺から体内へと吸い込みがんの原因となります。このため、新疆でのがん患者数は増える一方です。

そして中国は世界各地から、お金と引き換えに、例えば台湾の核廃棄物を受け入れています。2009年に起きたことですが、中国は隠そうとしました。この事例以外に何が埋められているか分かりません。

私たちが求めているのは独立した調査と現地の人への補償、現地のがん患者への無償医療の提供、そして核廃棄物の受け入れ拒否です。

きれいな故郷に住むことを求めています。

ありがとうございます。

おことわり

この文章の責任は証言動画の文字起こしを行ったピースポートにあります。オリジナルの証言と完全に一致するとは限りません。オリジナルの証言は2021年12月3日(日本時間)に行われた世界核被害者フォーラム2021にてオンラインで上映されました。このフォーラムはピースポート主催、核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)協力で開催され、世界5大陸から30名を超える参加者がそれぞれの核の被害を1000人を超える視聴者に訴えました。証言やパネルディスカッションの様子はYouTubeチャンネルまたはこちらのウェブサイトより閲覧可能です。<https://nuclearsurvivors.org>